

活動プログラム展開案⑤<中学校>
「友達のトラブルを解決する方法を練習しよう」

◆本時のねらい

- ・トラブル解決のポイントを使って、友達のトラブルを解決する方法を練習することができる。

◆授業前の取り扱い

- ・ペアやグループをつくる場合は意図的な構成を行い、生徒の心理的な負担をできる限り減らすように配慮する。
- ・本時の内容について配慮を要する生徒がいる場合は、本時の活動の内容や流れを事前に知らせる。
- ・前時の授業で使ったワークシートBを配付しておく。

◆展開（本時で使用する【スライド1】～【スライド9】は、展開案の後に示しています。

なお、スライド資料を使用せずに、板書することも可能です。）

学習活動	教師の働き掛け(○) 予想される生徒の反応(・)	指導上の留意点
<p>1. 前時の学習について振り返る。 【3分】</p> <p>2. 本時のめあてを知る。 【2分】</p>	<p>【スライド1】</p> <p>○前の時間は、「友達のトラブルを解決する方法」について学習しました。</p> <p>○トラブル解決のポイントを覚えていますか。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【トラブル解決のポイント】</p> <p>① トラブルの当事者である2人に、間に入ることを確認する</p> <p>② トラブルの当事者である2人に、相手の話を最後まで聴くことを約束させる</p> <p>③ トラブルの当事者である2人の言い分を繰り返しながら平等に聴く</p> <p>④ 解決案を出さない</p> </div> <p>○他にも、トラブルが解決しない場合は、大人に話すということも大切でしたね。</p> <p>○このトラブル解決のポイントは、トラブルを解決するときだけでなく、トラブルの場面以外でも普段から、互いが意識して生活することで、トラブルが減っていくのではないかと思います。今日は、皆さんが日常生活の中で生かすことができるように練習したいと思います。</p> <p>【スライド2】</p> <p>○今日は、前の時間に学習したトラブル解決のポイントを使って、友達のトラブルを解決する方法を練習していきます。</p>	<p>・トラブル解決のポイントは、トラブルの場面だけでなく、友達とのコミュニケーションの場面でも必要なスキルであることを、学級の実態に応じて話をする。</p>
<p>【本時のめあて】 友達のトラブルを解決する方法を練習しよう</p>		

<p>3. トラブル解決のポイントに気を付けながら練習をする。 【20分】</p>	<p>【スライド3】 ○前の時間で使ったワークシートBを見てください。 ○今日考えるトラブルは、前の時間で皆さんが台詞を考えた場面です。</p>	
---	---	--

【トラブルの場面】
放課後、先生に係の仕事で呼ばれたときに、AさんもBさんも行きたくなくてもめています。

	<p>○2人の様子が心配になったCさんが、2人に声を掛けています。</p> <p>【スライド4】 ○もめている状況を確認します。</p>	
--	---	--

【もめている状況】
A：Bさん、放課後の係の仕事、行ってよ！
B：は？なんで？勝手に決めないでよ！
A：だから、今頼んでるじゃない。
B：だったら、私（僕）だって頼みたい。Aさん、行ってよ！
C：2人とも、どうしたの？
B：係の仕事で呼ばれたんだけど、この人が私（僕）に行けって言うんだ！
A：行けって言ってない。行ってほしいと頼んだのに、急に怒り出したんじゃない！

	<p>【スライド5】 ○練習するときの約束を確認します。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・恥ずかしがらない ・冷やかさない ・よいところを見付ける </div> <p>【スライド6】 ○今から皆さんが考えたシナリオを使って、トラブルを解決する練習をしましょう。</p> <p>○4人グループになり「もめている役」（2人）と「間に入る役」、「観察役」に分かれて練習します。時計回りに役を交代して、全部の役を体験します。</p> <p>○ワークシートAに名前を書きましょう。書いたら、「観察役」に渡してください。</p> <p>○「観察役」は、「間に入る役」をよく見て、ワークシートAの1に、トラブル解決のポイントがよくできていたら◎、できていたら○、もう少しだったら△を丸で囲んでチェックをしましょう。また、ポイント以外の良かったところも書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に行動できるようにするためには、約束を守って練習することが大切であることを伝える。 ・役割をスライドで提示する。 ・ワークシートAを配付する。 ・グループごとにAさんとBさんのシナリオのカードを配付する。
--	---	--

	<p>○AさんとBさんは、シナリオのカードを持ってください。Cさんは、自分が書いたワークシートB（シナリオ）を持ってください。演技は、立って行います。「観察役」は、CさんのワークシートA（チェックシート）を準備してください。</p> <p>○1回目の練習を始めます。練習時間は3分です。3分経ったら、こちらから合図をします。そのときに全員で拍手をして、席に戻ってください。</p> <p>○3分経ちました。拍手をして席に戻ります。役割を降りて、演じた役割や相手に覚えた感情を引きずらないように、一度気持ちを切り替えてください。</p> <p>○AさんとBさんのシナリオのカードは、そのまま席に置いてください。</p> <p>○2回目の練習の席に移動してください。 ※2～4回目は、1回目と同様に行う。</p> <p>○「観察役」は、チェックが終わったら、ワークシートAを渡してください。</p>	
<p>4. 練習についてのシェアリングをする。 【15分】</p>	<p>【スライド7】</p> <p>○今から練習の振り返りを行います。ワークシートAの2に練習をして感じたことや気付いたことを書きましょう。</p> <p>○Cさんを演じるときに工夫したことや気を付けたことを発表しましょう。また、演じたときに感じたことや気付いたことを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを考えながら平等に聴こうとしたが、難しかった。 ・自然に間に入ろうと思ったが、とても勇気が必要だと感じた。 <p>○友達の演じたCさんの良かったところを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の方を見て聴いていた。 ・優しい口調で繰り返していた。 ・間に入るときの台詞が、2人のことを考えていた。 <p>○最後に、いくつかのグループに演じてもらい、トラブル解決のポイントを、もう一度確認したいと思います。</p>	<p>・3分経ったら、終わらせる。</p> <p>・トラブル解決の仕方が良かったグループに演じさせ、トラブル解決のポイントを再確認する。</p>
<p>5. プログラム全体を振り返る。 【5分】</p>	<p>【スライド8】</p> <p>○今日までの5時間の学習を通して、何を学びましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・怒りの感情や怒りの仕組み ・怒りのコントロール法 	<p>・活動プログラム全体を通した学習内容を相互に関連付けながらまとめる。</p>

<p>6. 振り返りシートに記入する。 【5分】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トラブルにならないような話し方や聴き方 ・トラブルを解決する方法 <p>○怒りのコントロールの仕方やトラブルにならないような話し方や聴き方、そして今日学習したトラブル解決のポイントを意識して生活するようになれば、この学級はどのように変わっていくでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラブルが少なくなる。 ・相手の気持ちを考えて行動できるようになる。 ・思いやりのある学級になる。 ・友達がトラブルを起こしたときには、声を掛けることができるようになる。 <p>○私たちの生活においてトラブルのない状態が理想ですが、実際には、腹が立ってイライラしたり、ムカムカしたりすることもあるし、トラブルが起きてしまうのも自然なことです。これまで学習してきたことを生かして、トラブルが起きないようにしたり、起きてしまったトラブルが小さいうちに「どうしたの？」と声を掛けたりする意識が学級の中に広がり、みんなが支え合う居心地の良い学級にしてほしいと思います。</p> <p>【スライド9】</p> <p>○今日、学習したことを振り返ります。振り返りシートに記入しましょう。</p>	<p>・振り返りシートを配付する。</p>
----------------------------------	---	-----------------------

◆評価の視点

- ・トラブル解決のポイントを使って、友達のトラブルを解決する方法を練習することができたか。

◆授業後の取り扱い

- ・生徒の感想を朝の会や帰りの会、学級通信などで紹介する。
- ・学習したポイントを学級内に掲示し、折に触れて確認する。
- ・学級通信などで活動の内容を紹介し、家庭での様子を見守っていただくようにする。
- ・学年間で活動内容等を共有し、学校生活における生徒の様子を観察する。

板書計画(5時目)

【めあて】友達のトラブルを解決する方法を練習しよう

【トラブル解決のポイント】

- ① 間に入ることを確認する
- ② 相手の話を最後まで聴くことを約束させる
- ③ 2人の言い分をくり返しながら平等に聴く
- ④ 解決案を出さない

※トラブルが解決しない場合は、大人に話す

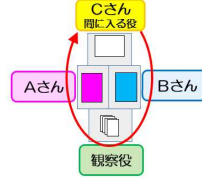
※ポイントは「・」や「①②③・・・」などで示します。それ以外に生徒からヒントとなる意見が出された場合も、下方に板書しておきます。

【練習するときの約束】

- ・ 恥ずかしがらない
- ・ 冷やかさない
- ・ よいところを見付ける

※練習がスムーズに進められるように、役割の進め方を掲示したり、相互評価の仕方の説明を板書したりします。

【役割と進め方】



- ① 役割演技をする
- ② シナリオを置き、互いに拍手する
- ③ 観察役は間に入る役の良かったところを記入する
- ④ 役割を交代する
- ⑤ 学級全体で交流する

【学習後の感想】

- ・
- ・
- ・
- ・

※学習を振り返って気付きや感想を出してもらい、「・」などで示します。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド1】

トラブル解決のポイント

- ① トラブルの当事者である2人に、**間に入ることを確認する**
 - ② トラブルの当事者である2人に、**相手の話を最後まで聴くことを約束させる**
 - ③ トラブルの当事者である2人の言い分を**繰り返しながら平等に聴く**
 - ④ **解決案を出さない**
- ※ トラブルが解決しない場合は、大人に話す

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

前の時間は、「友達のトラブルを解決する方法」について学習しました。トラブル解決のポイントを覚えていますか。

- ① トラブルの当事者である2人に、間に入ることを確認する
- ② トラブルの当事者である2人に、相手の話を最後まで聴くことを約束させる
- ③ トラブルの当事者である2人の言い分を繰り返しながら平等に聴く
- ④ 解決案を出さない

です。

他にも、トラブルが解決しない場合は、大人に話すということも大切でしたね。このトラブル解決のポイントは、トラブルを解決するときだけでなく、トラブルの場面以外でも普段から、互いが意識して生活することで、トラブルが減っていくのではないかと思います。

今日は、皆さんが日常生活の中で生かすことができるように練習したいと思います。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド2】

今日のめあて

友達のトラブルを解決する方法を練習しよう



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

今日は、前の時間に学習したトラブル解決のポイントを使って、友達のトラブルを解決する方法を練習していきます。

今日のめあては、友達のトラブルを解決する方法を練習しようです。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド3】

トラブルの場面

放課後、先生に係の仕事で呼ばれたときに、AさんもBさんも行きたくなくてもめています。



Aさん



Cさん



Bさん

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

前の時間で使ったワークシートBを見てください。

今日考えるトラブルは、前の時間で皆さんが台詞を考えました場面です。

放課後、先生に係の仕事で呼ばれたときに、AさんもBさんも行きたくなくてもめている場面です。

2人の様子が心配になったCさんが、2人に声を掛けています。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド4】

- A: Bさん、放課後の係の仕事、行ってよ！
 B: は？ なんで？勝手に決めないでよ！！
 A: だから、今、頼んでるじゃない。
 B: だったら、私だって頼みたい。Aさん、行ってよ！
 C: 2人とも、どうしたの？
 B: 係の仕事で呼ばれたんだけど、この人が私に行けって言うんだ！
 A: 行けって言ってない。
 行ってほしいと頼んだのに、急に怒りだしたんじゃない！

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

もめている状況を確認します。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド5】

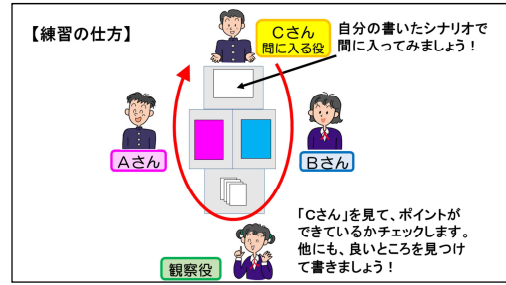
【練習するときの約束】

- ・ 恥ずかしがらない
- ・ 冷やかさない
- ・ よいところを見付ける

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

練習するときの約束を確認します。
恥ずかしがらない、冷やかさない、よいところを見付ける
です。

【スライド6】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

(●印の時、アニメーションを動かす)

今から皆さんが考えたシナリオを使って、トラブルを解決する練習をしましょう。
4人グループになり「もめている役」(2人)と「間に入る役」、「観察役」に分かれて練習
します。

●時計回りに役を交代して、全部の役を体験します。

ワークシートAに名前を書きましょう。書いたら、「観察役」に渡してください。
「観察役」は、「間に入る役」をよく見て、ワークシートAの1に、トラブル解決のポイント
がよくできていたら◎、できていたら○、もう少しだったら△を丸で囲んでチェックをし
ましょう。

また、ポイント以外の良かったところも書きましょう。

AさんとBさんは、シナリオのカードを持ってください。Cさんは、自分が書いたワーク
シートB (シナリオ)を持ってください。演技は、立って行います。「観察役」は、Cさんの
ワークシートA(チェックシート)を準備してください。

1回目の練習を始めます。練習時間は3分です。3分経ったら、こちらから合図をし
ます。そのときに全員で拍手をして、席に戻ってください。

3分経ちました。拍手をして席に戻ります。役割を降りて、演じた役割や相手に覚えた
感情を引きずらないように、一度気持ちを切り替えてください。
AさんとBさんのシナリオのカードは、そのまま席に置いてください。

2回目の練習の席に移動してください。

※2～4回目は、1回目と同様に行う。

「観察役」は、チェックが終わったら、ワークシートAを渡してください。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド7】

練習をして、感じたこと

- (1) Cさんを演じるときに工夫したことや気を付けたこと
- (2) Cさんを演じたときに感じたことや気付いたこと
- (3) 友達の演じたCさんの良かったところ

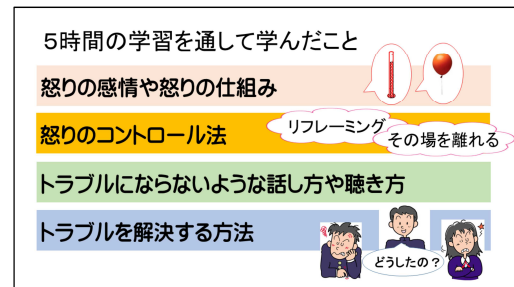
【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

(●印の時、アニメーションを動かす)

今から練習の振り返りを行います。
ワークシートAの2に練習をして感じたことや気付いたことを書きましょう。
Cさんを演じるときに工夫したことや気を付けたことを発表しましょう。
また、演じたときに感じたことや気付いたことを発表しましょう。
友達の演じたCさんの良かったところを発表しましょう。

最後に、いくつかのグループに演じてもらい、トラブル解決のポイントを、
もう一度確認したいと思います。

【スライド8】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

(●印の時、アニメーションを動かす)

今日までの5時間の学習を通して、何を学びましたか。

- 怒りの感情や怒りの仕組み
- 怒りのコントロール法
- トラブルにならないような話し方や聴き方
- トラブルを解決する方法

怒りのコントロールの仕方やトラブルにならないような話し方や聴き方、
そして今日学習したトラブル解決のポイントを意識して生活するようになれば、
この学級はどのように変わっていくでしょうか。

私たちの生活においてトラブルのない状態が理想ですが、実際には、
腹が立ってイライラしたり、ムカムカしたりすることもあるし、トラブルが起きてしま
うのも自然なことです。

これまで学習してきたことを生かして、トラブルが起きないようにしたり、起きて
しまったトラブルが小さいうちに「どうしたの？」と声を掛けたりする意識が学級
の中に広がり、みんなが支え合う居心地の良い学級にしてほしいと思います。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド9】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

今日、学習したことを振り返ります。
振り返りシートに記入しましょう。